

第20回 生命科学シンポジウム

# 『高齢化社会を科学する』

京都大学・総長  
山極 壽一

「老いの進化」

平成28年 **12月17日** (土)

午後1時55分～午後5時30分

学習院大学

西5号館 201号室

JR山手線目白駅下車、徒歩5分

慶應義塾大学・医学部長

岡野 栄之

「再生医療と先制医療で健康寿命を延ばす！」

首都大学東京・都市教養学部・教授

相垣 敏郎

「寿命遺伝子を探る」



第20回 生命科学シンポジウム

# 『高齢化社会を科学する』

平成28年 **12月17日** (土)

午後1時55分～午後5時30分

**学習院大学** 西5号館 201号室

JR山手線目白駅下車、徒歩5分



午後1:30

受付開始

午後1:55

開会、主催者挨拶 **阿形 清和**

(学習院大学・理学部教授)

午後2:00～午後2:55



● **相垣 敏郎** (首都大学東京・都市教養学部・教授)

## 「寿命遺伝子を探る」

寿命を決定する遺伝要因と環境要因について、ショウジョウバエを使った研究を中心に紹介します。ここ数年間取り組んでいる寿命の進化実験と、アマゾン原産果実による寿命延長機構に関する話題についても紹介する予定です。

午後3:00～午後3:55



● **岡野 栄之** (慶應義塾大学・医学部長、慶應義塾大学・医学部・生理学教授)

## 「再生医療と先制医療で健康寿命を延ばす！」

少子高齢化という課題先進国の日本にとって、最も重要なことの一つは、認知症対策です。iPS細胞技術やゲノム科学、イメージング医学を駆使した認知症を対象とした「先制医療」の概念についてお話したいと思います。

午後4:00～午後4:55



● **山極 壽一** (京都大学・総長)

## 「老いの進化」

多くの生き物は次世代を残すとともに寿命を全うする。人類だけが、次世代を残した後にも生きることになった。ここでは、どのようにして老いが進化してきたのかを考えてみたい。

午後5:00～午後5:30

ラウンド・テーブル・ディスカッション

午後5:30

閉会の挨拶 **岡本 治正** (学習院大学・理学部長)

本シンポジウムのポスター作製：カメラマン若杉さんのご紹介

若杉 燎磨 (わかすぎ りょうま)

1984年から2005年までAP通信社東京支局写真部に勤務。在職中は国内外の政治、経済、事件、事故、スポーツ、国際イベント等のあらゆる写真取材を経験。1995年ベトナム・ホーチミン市でのベトナム戦争終結20周年記念式典取材、1997年橋本龍太郎首相(当時)の随行者としてアメリカのデンバーサミット(先進国首脳会議)、ニューヨークの国連本部演説へAP東京支局から単独で同行、国内外新聞に数多く写真が掲載される。2005年7月よりフリーランス、現在はジャンルを問わず活動中。また、フタモンゴに魅せられライフワークとして撮影中。2007年日本清興美術協会展本展入賞。東京都と千葉県でデジタル写真教室開催。日本写真家ユニオン(JPU)所属。